

山形市若年女性地元定着促進事業【山形市】

個別事業費	504 千円
交付金額	252 千円

地域の実情と課題

女性の地元定着を促進するための情報発信や高校と連携したふるさと教育など意識啓発を図ってきたが、令和6年度末の20歳から29歳までの女性の転出超過人数が521人と前年度比12%増となり、若年女性の人口流出が顕著となっている。

目的・目標

次の世代の女性達が、前向きにリーダーを目指せる社会の創出と地元定着・地元回帰のきっかけづくりを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	事業参加者のうち山形で暮らしたいと思う割合 (%)	83% (アウトカム)	55.5%

事業の特徴

市内在住・在学の女子高校生を事業対象者としたワークショップを実施した。様々な分野で活動してきた女性よりメンターとして全体のサポートを行っていただき、山形で活躍する女性を身近に感じてもらった。また、山形市副市長など組織のトップとの意見交換や多くの地元社会人と交流を深めることで、自身のキャリアを考えるきっかけづくりと地元で働くことや地元企業へのイメージの具現化が図ることができた。

連携団体

山形市男女共同参画審議会（山形大学、山形県弁護士会、山形新聞社、山形商工会議所、連合山形地域協議会、山形市PTA連合会、山形市小学校長会、山形市中学校長会、山形市女性団体連絡協議会、男女共同参画センター利用団体、山形労働局、山形県福祉相談センター）、山形連携中枢都市圏（山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町在住、在勤の女性）

事業の効果

事業参加前は山形で暮らしたいまたはいずれ戻りたいという参加者は50%であったが、プログラムを通して、キャリア形成や地元を知ることにより、若干増加することとなった。
さらに、事業の動画を作成することにより、プログラム全体をより多くの市民に周知することができた。

今後の課題

若者の地元定着・地元回帰や女性活躍推進について、高校における探究活動の一環として活用できないか引き続き学校と検討していく。

事業の概要

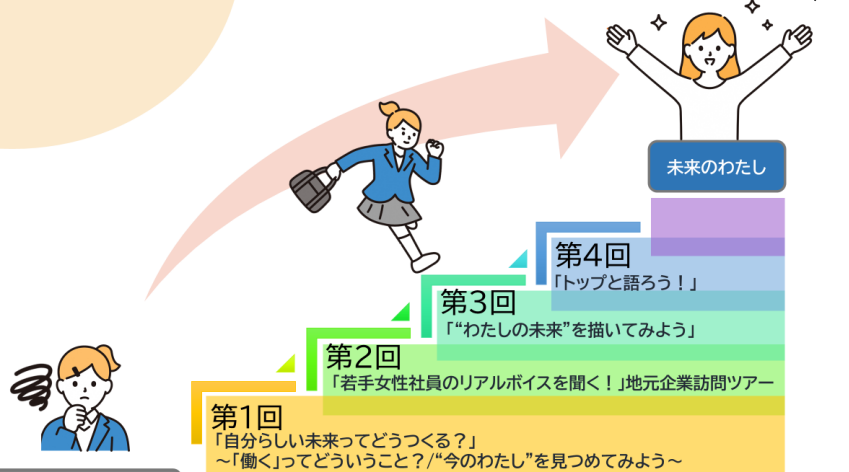
Girl up!

ミライ×わたしスタートアッププロジェクトとは？

「自分を知る」「社会とつながる」「未来を描く」 4回の探究プログラム

- 自己分析を通して、**自分の価値観**や**得意なこと**を見つける
- 社会で働く**若手女性との対話**で、**リアルな「働く」**を知る
- 「キャリアマップ」づくりで、**なりたい未来**を言葉にする
- **自分の考えを深めて**、進路選択や入試にも活かせる

“未来のわたし”に出会う4ステップ

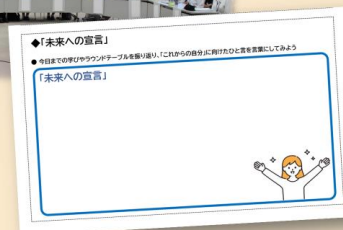


進路や将来に対する、
もやもや・悩みなど

第4回「トップと語ろう！」



振り返りワークショップ 「未来への宣言」



未来の自分に向けて
一歩踏み出す言葉を書き記しました

「修了証授与」

ひとりひとりに
修了証を
授与しました



事業の成果：

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	事業参加者のうち山形で暮らしたいと思う割合 (%)	8.3% (アウトカム)	55.5%

事業参加前は“山形で暮らしたいまたはいずれ戻りたい”という参加者は50%であったが、キャリア形成や地元を知ることにより、若干増加↑